

福島県 田村市

(基本方針)

インフラ等の復旧については、帰還に向けて必要な社会基盤で、早急に応急的な対応をしなければならないが、道路や農業用水施設の災害復旧事業については、平成24年度でほぼ整備が完了した。電気や上水道は震災当時から大きな被害はなく、その他のインフラについても、早急に整備が必要な事業はない。

1. 道路

(高速道路)

磐越自動車道の船引三春 IC・小野 IC 間にスマート IC を設置申請予定。

(市道)

市道小滝沢線の災害復旧事業については、平成 24 年 7 月に災害査定を受け、同年 10 月に工事を発注し、平成 25 年 3 月に完了した。

2. 農業用施設

農業用水及び農道については、平成 24 年 5 月から復旧に着手し、平成 25 年 3 月に完了した。

3. 林道

林道合子線（国道 288 号線から合子地区へ向かう林道）のうちの被災箇所の災害復旧事業については、平成 24 年 9 月に災害査定を受け、同年 11 月に工事を発注し、平成 25 年 5 月末に復旧を完了した。

また、同林道については、平成 26 年度までに、修繕工事を実施する予定。

4. 文教施設

古道小学校・都路中学校の校庭の土砂崩れは、平成 24 年 7 月に工事が完了した。

岩井沢児童館は、修繕工事を平成 26 年 3 月の完了を目標に実施する。

その他の修繕及び除染についても完了しているため、都路町の小・中学校、こども園、幼稚園、児童館については、平成 26 年 4 月から都路町内で再開する。

5. 観光施設

グリーンパーク都路は施設の営業を休止しているが、平成 25 年 6 月より除染作業に着手した。平成 26 年 7 月を目標に事業を再開する。

子どもの国ムシムシランドは、スカイパレスときわが通常どおり営業しており、施設全体の除染は、平成 25 年 7 月に完了した。

6. 除染計画

(市町村計画)

すでに策定された市除染実施計画に基づき、旧警戒区域を除く市内全域にて平成 25 年度末までに、日常生活環境及び隣接する森林、農地の除染を終了するとともに、それ以外の森林と河川等については、今後示される国の方針を踏まえて実施を検討する。都路町の生活圏域の除染については、平成 25 年 11 月末の完了を目標に実施する。

(国計画)

旧警戒区域については、平成 25 年 6 月に「特別地域内除染実施計画（田村市）」（平成 24 年 4 月策定）に基づく事業が終了。

同年 9 月から、除染効果の維持を確認するため、事後モニタリングを実施。

(参考) <特別地域内除染実施計画（田村市）>

http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=19735&hou_id=15115

7. 災害廃棄物処理（対策地域内廃棄物処理）

① 旧警戒区域内被災状況

- ・これまでの現地踏査で被災家屋の状況を確認。

② 事業実施予定

- ・住民の帰還の妨げにならないタイミングで、着実に対策地域内廃棄物を処理する。
※地権者及び周辺住民のご理解とご協力が必須となる。

③ 平成 24 年度における成果

- ・国直轄事業内容について、市との調整を実施。
- ・国による解体が必要な家屋について、解体撤去申請を受付。

④ 平成 25 年度の成果目標

- ・国による解体が必要な家屋の解体・撤去（要解体家屋等 19 件）。

被災家屋等について、解体で発生する廃棄物の処理先を確保し、解体・撤去を進める。
上記のほか、引き続き災害廃棄物等の処理を推進する。

インフラ復旧の工程表(福島県田村市)

平成25年11月現在

●→ : 工程が見込めるもの ●.....▶ : 工程が現時点で見込みにくいもの

	整備主体	被災/復旧状況	H24年度に実施したこと(成果)	H25年度に実施すること(成果・目標)	25年度				26年度				27年度				H28年度以降	備考・ポイント等	
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月			
道路																			
超越自動車道	東日本高速道路株・市			船引三春IC・小野IC間にスマートICを設置する準備を進める	●→ 設置申請準備				●.....▶ 申請結果に基づく各関係機関との協議の実施										
市道 小滝沢線	市	災害復旧事業	復旧工事が完了																
農地・農業用施設																			
農業用水	市	古道地内水路13カ所 水路崩落	復旧工事が完了																市予算で復旧
農道	市	古道地内農道4カ所 道路損壊	復旧工事が完了																市予算で復旧
林道																			
林道 合子線	市	路肩の崩落	復旧工事を発注	5月末に復旧工事を完了 平成26年度までに修繕工事を実施予定	●→ 復旧				●→ 修繕									修繕は市予算による。	
文教施設																			
都路こども園	市	修繕は完了。	修繕は完了	除染を完了	●→ 市計画による除染													現在は旧警戒区域外の廃校にて運営。 平成26年度から都路町内で再開する。	
岩井沢児童館	市	浄化槽の修繕が必要	浄化槽の修繕は完了。 除染も完了した	壁等の修繕を実施する					●→ 修繕									現在は旧警戒区域外の廃校にて運営。 平成26年度から都路町内で再開する。	
岩井沢幼稚園	市	施設再開を前提とした修繕箇所の把握は未実施	修繕は完了。除染も完了した																現在は旧警戒区域外の廃校にて運営。 平成26年度から都路町内で再開する。
岩井沢小学校	市	地震により、校舎・設備が損壊	修繕は完了。除染も完了した																現在は旧警戒区域外の廃校にて運営。 平成26年度から都路町内で再開する。
古道小学校	市	校舎等が損壊。 校庭の土砂崩れは平成24年7月に完成。	修繕は完了	除染を完了	●→ 市計画による除染													現在は旧警戒区域外の廃校にて運営。 平成26年度から都路町内で再開する。	
都路中学校	市	校舎等が損壊。 校庭の土砂崩れは平成24年7月に完成。	修繕は完了	除染を完了	●→ 市計画による除染													現在は旧警戒区域外の廃校にて運営。 平成26年度から都路町内で再開する。	
観光施設																			
グリーンパーク都路	市	休止	道路・施設の復旧	除染・建物内清掃	●→ 除染													平成26年7月を目標に事業を再開する。	
子どもの国ムシムシランド	市	休止 (スカイバレスときわは通常通り営業中)	カプト屋敷等の自力除染	スカイバレスときわ等の施設の除染	●→ 施設の除染				●→ 一部稼働									平成25年7月以降、スカイバレスときわ及びカプト屋敷が稼働中。 平成27年4月 全施設稼働予定。	
除染																			
先行除染	国	実施済み	事業の実施	—	●→ 実施済み													集会所4件	
特別地域内計画	国	H24年4月特別地域内除染実施計画策定	計画の策定及び事業の実施	6月に除染等の措置を終了	●.....▶ 特別地域内除染実施計画に基づく事業 ●.....▶ 事後モニタリング														
市町村計画	市	策定済み		除染	●→ 除染														
仮置場	国・市	確保済	選定作業及び確保	—	●.....▶ 仮置場設置・管理														
災害廃棄物処理																			
対策地域内廃棄物処理	国	これまでの現地踏査で被災家屋の状況を確認	・国直轄事業内容について、市との調整を実施 ・国による解体が必要な家屋について、解体撤去申請を受付	国による解体が必要な家屋の解体・撤去	●.....▶ 家屋の解体・撤去を実施													被災家屋等について、解体で発生する廃棄物の処理先を確保し、解体・撤去を進める。	

※本工程表に記載の内容については軽微な修正を行う場合があります。

道 路

(高速道路の復旧・整備)

1. 常磐自動車道

- ① 箇所名：常磐自動車道の被災箇所
- ② 応急復旧により、平成23年4月28日までに旧警戒区域※にかかる区間（常磐自動車道常磐富岡IC～広野IC）を除き、一般車両の通行が可能となった。（旧警戒区域にかかる区間は、4月29日までに緊急車両の通行が可能となった。）

※平成24年4月1日の区域見直し前の警戒区域

- ③ 平成24年12月22日までに本復旧を完了（常磐自動車道常磐富岡IC～広野ICを除く）
- ④ 旧警戒区域にかかる区間（南相馬IC～広野IC）については、環境省が実施する除染工事※と並行して復旧・整備工事に着手しており、工事発生材等の処理、供用形態、アクセス道路の復旧等について関係機関と調整が整うことを前提に、
 - ・ 常磐富岡ICから広野IC間が平成25年度内
 - ・ 南相馬ICから浪江IC間が平成26年度内
 - ・ 浪江ICから常磐富岡IC間が平成26年度開通目標区間から大きく遅れない時期

を開通目標としている。

また、旧警戒区域外の山元ICから相馬ICについても、平成26年度を開通目標として工事を推進している。

※路面上の空間線量率が毎時3.8マイクロシーベルト（年間20ミリシーベルト相当）を越える箇所について、環境省が昨年除染に着手し、平成25年6月末までに除染作業が終了。仮置場管理、除染後のモニタリング等は引き続き実施。

(直轄国道の復旧)

2. 一般国道6号

- ① 箇所名：一般国道6号の被災箇所
- ② 応急復旧により、平成23年4月10日までに旧警戒区域を除き通行が可能となった。（旧警戒区域内は、平成23年12月26日までに2車線を確保。）
- ③ 平成25年3月2日に震災による規制箇所は全て解消した。
- ④ 平成25年度内に本復旧が完了する予定

(県管理道路の復旧)

3. 県管理道路

○南相馬市エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備区域内の路線数（県管理道路）	10路線
うち被災した路線（工区）数	10路線 52箇所
うち本復旧が完了した路線（工区）数	1路線 2箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	2路線 2箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	9路線 50箇所

② 復旧の予定

被災箇所10路線52箇所のうち1路線2箇所については、旧計画的避難区域であり平成23年に査定を受け工事完了している。

残る9路線50箇所については、平成24年に査定完了済み。準備が整った箇所から速やかに本復旧工事に着手する。

本復旧工事の完了については、地震災は概ね3年、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら概ね5年での完了を目指す。

③ 平成24年度における成果

平成23年度に発注した2箇所について、工法の変更を行い、工事を完了させた。

避難指示解除準備区域において、9路線50箇所の災害査定を完了するとともに、建設副産物の処理方針について調整を図った。

また、津波により流出した幾代橋小高線について、応急工事を実施した。

④ 平成25年度の成果目標

着手可能な地震災について年度内完了を図る。津波災については他事業との調整を行い、工事の早期着手に向けて準備を進める予定。

⑤ その他

工事の実施にあたっては、放射能に汚染された建設工事発生物の処分が問題となっている。

○田村市エリアの県管理道路

① 道路の状況

避難指示解除準備区域内の路線数（県管理道路）	1路線
うち被災した路線（工区）数	1路線 1箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	0路線 0箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	1路線 1箇所

② 復旧の予定

被災箇所については、平成24年7月下旬から順次災害査定を受け、平成24年度に本復旧が完了した。

○広野町エリアの県管理道路

① 道路の状況

旧緊急時避難準備区域内の路線数（県管理道路）	6路線	
うち被災した路線（工区）数	3路線	5箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	0路線	0箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	2路線	2箇所

② 復旧の予定

被災箇所については、平成23年に災害査定を受け、うち地震災2箇所は工事完了済みであり、津波災3箇所は、復興計画との整合を図りながら、今後の復旧方法を再検討している。

本復旧工事の完了について、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら概ね5年での完了を目指す。

③ 平成24年度における成果

平成23年度に発注した2箇所について、工事を完了した。

④ 平成25年度の成果目標

津波災について、他事業との調整を図りながら工事の早期着手に向けて準備を進める予定。

○檜葉町エリアの県管理道路

① 道路の状況

旧緊急時避難準備区域内の路線数（県管理道路）	5路線	
うち被災した路線（工区）数	5路線	20箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	0路線	0箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	5路線	20箇所

※現在継続して調査を実施中（広野小高線橋梁1箇所）

② 復旧の予定

平成23年度に被災調査を実施しており、（主）いわき浪江線外4路線で地震・津波による被害が確認された。

本復旧工事の完了について、地震災は概ね3年、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら概ね5年での完了を目指す。

③ 平成24年度における成果

5路線12箇所について、工事着手した。
建設副産物の処理方針について調整を図った。

④ 平成25年度の成果目標

工事着手した5路線12箇所について、年度内完了を図る。また、2路線7箇所について、他事業との調整を図りながら工事の早期着手に向けて準備を進めるとともに、1路線1箇所について、査定に向けた準備を進める予定。

○飯舘村エリアの県管理道路

① 道路の状況

区域内の路線数（県管理道路）	5路線
うち被災した路線（工区）数	5路線
※現在継続して調査を実施中	

② 復旧の予定

平成23年度に被災調査を一部実施しており、国道399号他4路線で地震による被害が確認され、同年度に10箇所の災害査定を完了した。

避難指示解除準備区域の復旧工事（2箇所）については、平成25年度内の完了を目指す。

③ 平成24年度における成果

避難指示解除準備区域の箇所について、アスファルトの線量調査を実施した。

④ 平成25年度の成果目標

避難指示解除準備区域の復旧工事（2箇所）について、年度内完了を図る。

⑤ その他

居住制限区域及び帰還困難区域の未調査箇所については、放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手する。

○富岡町エリアの県管理道路

① 道路の状況

区域内の路線数（県管理道路）	5路線
うち被災した路線（工区）数	5路線
※現在継続して調査を実施中	

② 復旧の予定

平成23年度に被災調査を実施しており、小埴上郡山線外2路線が地震・津波による被害が確認された。

避難指示解除準備区域は平成25年度査定に向けて準備を進め、早期の完了を目指す。

居住制限区域と帰還困難区域については、被災箇所の調査が未了であり、除染を含めた線量の減衰を見極めながら可能な区域より調査および工事を行う。

本復旧工事の完了について、地震災は概ね3年、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら概ね5年での完了を目指す。

災害復旧区間において、町の上下水道等の復旧箇所がある場合には調整を図り、工事を行う。

③ 平成24年度における成果

災害査定に向けて、避難指示解除準備区域における3路線10箇所について災害調査を行った。

④ 平成25年度の成果目標

避難指示解除準備区域における災害査定を完了させ、着手可能な地震災について年度内完了を図る。

⑤ その他

居住制限区域及び帰還困難区域の未調査箇所については、放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手する。

○浪江町エリアの県管理道路

① 道路の状況

区域内の路線数（県管理道路）

15路線

うち被災した路線数

7路線

※現在継続して調査を実施中

② 復旧の予定

平成23年度から被災調査を実施しており、国道114号他6路線で地震・津波による被害が19箇所確認された。

避難指示解除準備区域は平成25年6月までに災害査定を受け、早期の完了を目指す。居住制限区域と帰還困難区域については、被災箇所の調査が未了であり、除染を含めた線量の減衰を見極めながら可能な区域より調査および工事を行う。本復旧工事の完了については、地震災は査定から概ね3年、津波災は今後策定される復興計画との整合を図りながら、査定から概ね5年での完了を目指す。

災害復旧区間において、町の上下水道等の復旧箇所がある場合には調整を図り、工事を行う。

災害復旧箇所では今後、ホットスポットが確認された箇所の復旧については、線量調査を行い対応方法や実施時期の検討を行う。

③ 平成24年度の成果

災害査定に向け、復旧する施設の概要計画を策定した。

居住制限・帰還困難区域において、道路状況撮影車両による被災状況の調査を行った。

④ 平成25年度の成果目標

避難指示解除準備区域は平成25年6月までに災害査定を受ける予定。また、着手可能な地震災については、年度内完了を図る。

津波災については、他事業との調整を行い、工事の早期着手に向けて準備を進める予定。

⑤ その他

居住制限区域及び帰還困難区域の未調査箇所については、放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手する。

○葛尾村エリアの県管理道路

① 道路の状況

区域内の路線数（県管理道路）	4 路線	
うち被災した路線数	4 路線	1 3 箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	4 路線	1 3 箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	4 路線	1 3 箇所

② 復旧の予定

平成23年度に比較的線量の低い箇所について被災調査を実施した結果、国道399号外3路線で地震による被害が確認され、同年度に災害査定を完了した。復旧する施設の概要については、建設副産物の処理方法が確定した後に、周辺の除染作業の工程に合わせ、工事を進める。復旧工事については、概ね3年での完了を目指す。

帰還困難区域に位置する路線は、線量の低減を見極めながら可能な区域より調査及び工事を行う。

③ 平成24年度における成果

4 路線 1 3 箇所について、工事着手した。
建設副産物の処理方針について調整を図った。

④ 平成25年度の成果目標

4 路線 1 3 箇所について、工事の年度内完了を図る。

○川俣町エリアの県管理道路

① 道路の状況

計画的避難区域内の路線数（県管理道路）	3 路線	
うち被災した路線（工区）数	3 路線	1 1 箇所
うち応急対策を実施した路線（工区）数	0 路線	0 箇所
うち本復旧を実施する路線（工区）数	0 路線	0 箇所

② 復旧の予定

復旧箇所の放射線量が高く、掘削残土の移動を地区外に出来ない。また、残土処分地の見通しが立っていないことから事業は未着手となっている。

今後、処分方法が決定次第、復旧工事を実施する。

(県管理道路の整備 (改良))

県管理道路

○川内村エリアの県管理道路

県道小野富岡線の整備 (西ノ内工区)

- ① 整備の予定
県道小野富岡線 (西ノ内工区) の道路改良工事
概ね10年での完成を目指す。
- ② 平成24年度における成果
地元説明会、地形測量を実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
道路予備設計、路線測量を実施。

県道小野富岡線の整備 (五枚沢1工区)

- ① 整備の予定
川内村大字下川内地内～川内村大字下川内地内の延長L＝約2.7kmの道路改良工事。
概ね10年での完成を目指す。
- ② 平成24年度における成果
舗装工L＝178mを実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
(仮称) 2号橋の下部工(A1)、上部工に着手。

県道小野富岡線の整備 (五枚沢2工区)

- ① 整備の予定
県道小野富岡線 (五枚沢2工区) の道路改良工事。
概ね10年での完成を目指す。
- ② 平成24年度における成果
道路概略設計を実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
道路予備設計を実施。

県道吉間田滝根線 (広瀬工区)

- ① 整備の予定
いわき市川前町小白井地内～小野町大字小戸神地内の延長L＝約9kmの道路改良工事。
概ね10年間での完成を目指す。
- ② 平成24年度の成果目標
航測図化、道路概略設計。
- ③ 平成25年度の成果目標
地元説明会、道路予備設計、地質調査を実施。

県道富岡大越線の緊急現道対策

- ① 整備の予定
伐木、防草板、路肩拡幅等の緊急現道対策を平成25、26年度で実施する。
- ② 平成25年度の成果目標
緊急現道対策工事を実施。

○檜葉町エリアの県管理道路

県道小埜上郡山線の整備（井出工区）

- ① 整備の予定
檜葉町大字北田地内～檜葉町大字井出地内の延長L＝約1.7kmの道路改良工事。
概ね10年での完成を目指す。
- ② 平成24年度における成果
役場との調整実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
事業用地を取得。

県道広野小高線の整備（檜葉工区）

- ① 整備の予定
県道広野小高線（檜葉工区）の道路改良工事。
概ね10年での完成を目指す。
- ② 平成24年度における成果
道路概略設計を実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
構造物詳細設計を実施。
- ④ その他
埋蔵文化財調査と調整を図りながら、事業を進める。

○いわき市エリアの県管理道路

国道399号（十文字工区）

- ① 整備の予定
いわき市小川町上小川地内～いわき市小川町上小川地内の延長L＝約6.2kmの道路改良工事。
概ね10年程度で完成を目指す。
- ② 平成24年度における成果
道路予備設計を実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
トンネル詳細設計、道路詳細設計を実施。

県道小野富岡線（吉間田工区）

- ① 全体計画

いわき市川前町下桶売地内～いわき市川前町下桶売地内の延長L＝約2.0km
の道路改良工事。

H26年度の供用を目指す。

- ② 平成24年度における成果
（仮称）荻2号橋下部工を実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
（仮称）荻1・2号橋上部工に着手。

県道小野富岡線（小白井工区）

- ① 全体計画

いわき市川前町小白井地内～いわき市川前町小白井地内の延長L＝約2.6km
の道路改良工事。

概ね10年度での完成を目指す。

- ② 平成24年度における成果
道路予備設計を実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
道路詳細設計を実施。

○田村市エリアの県管理道路

国道288号（船引バイパス）

- ① 整備の予定

概ね10年での完成を目指す。

田村市船引町春山地内～田村市船引町船引地内の延長L＝約4.1km区間の道路
改良工事。

1工区 田村市船引町春山～田村市船引町船引 L＝2.0km

2工区 田村市船引町船引～田村市船引町船引 L＝2.1km

- ② 平成24年度における成果
1工区の道路改良工事、2工区の路線測量・道路詳細設計を実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
1工区の道路改良工事、2工区の用地取得を実施。

国道399号（春日前）

- ① 整備の予定

平成25年度より調査検討に着手。

- ② 平成24年度における成果
地元調整を実施。
- ③ 平成25年度の成果目標
地元調整を実施。道路設計に着手。

国道399号（掛札峠）

- ① 整備の予定

平成26年度の完成を目指す。

田村市都路町岩井沢地内～双葉郡葛尾村大字落合地内の延長L＝約0.6kmの道路改良工事。

- ② 平成24年度における成果
葛尾村役場との調整。
- ③ 平成25年度の成果目標
道路改良工事に着手。

インフラ復旧の工程表（道路）

平成25年11月現在

→ : 工程が見込めるもの : 工程が現時点で見込みにくいもの

	整備主体	被災/稼働状況	H24年度に実施したこと(成果)	H25年度に実施すること(目標)	H25年度				H26年度				H27年度				H28年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
常磐自動車道	東日本高速道路(株)	平成23年4月28日までに一般車両通行可能 (原発警戒区域内は、平成23年4月29日までに緊急車両通行可能)	平成24年12月22日までに本復旧を完了(常磐自動車道常磐富岡IC～広野ICを除く)	旧警戒区域にかかる区間(常磐道常磐富岡IC～広野IC)については、環境省が実施する除染工事(路面上の空間線量率が毎時3.8マイクロシーベルト(年間20ミリシーベルト相当)を超える箇所について、環境省が昨年除染に着手し、平成25年6月末までに除染作業が終了。仮置場管理、除染後のモニタリング等は引き続き実施。)と並行して復旧工事に着手しており、工事発生材等の処理、供用形態、アクセス道路の復旧等について関係機関と調整が整うことを前提に、平成25年度を開通目標として事業を進める。	常磐富岡IC～広野ICの復旧工事*	南相馬IC～浪江ICの整備工事*	山元IC～相馬ICの整備工事										○浪江IC～常磐富岡ICの整備工事等は平成26年度開通区間から大きく遅れない時期を開通目標 ※旧警戒区域を含む区間の開通時期は工事発生材の処理、供用形態、アクセス道路の復旧等について関係機関との調整が整うことを前提	
一般国道6号	国	平成23年4月10日までに福島第一原子力発電所警戒区域を除き通行可能。 原発警戒区域内は、平成23年12月26日までに2車線を確保。	平成25年3月2日に震災による規制箇所は全て解消した。	平成25年度内に本復旧が完了する予定	本復旧													
県管理道路 南相馬市エリア																		
県道12号 原町川俣線(地震)	県(土木部)	1箇所は応急工事により2車線確保 路面クラック	工事完了	—														工事完了
県道34号 相馬浪江線 他8路線(地震)	県(土木部)	路面クラックなど	災害査定の実施 建設副産物の処理方針の調整	災害復旧工事の実施に向けた調整 災害復旧工事の実施	査定	本復旧工事				本復旧工事								建設副産物の処理について調整を図り、平成27年度の完成を目指す。
県道255号 幾世橋小高線 他3路線(津波)	県(土木部)	道路流失など	災害査定の実施 建設副産物の処理方針の調整 応急工事の実施	災害復旧工事の実施に向けた調整 災害復旧工事の実施	調整	本復旧工事				本復旧工事								復興まちづくり計画に合わせて復旧予定。 H27年度の工事完成を目指す。
県管理道路 田村市エリア																		
国道288号	県(土木部)	路面クラック	災害査定受検、工事完了															
国道288号 (船引バイパス)	県(土木部)	—	1工区:道路改良工事 2工区:路線測量・道路詳細設計	1工区:道路改良工事 2工区:用地取得			調査、設計、用地取得、工事											事業期間:概ね10年での完成を目指す。
国道399号 (春日前)	県(土木部)	—	地元調整	地元調整、設計に着手			地元調整、設計											
国道399号 (掛札峠)	県(土木部)	—	葛尾村役場との調整	道路改良工事に着手			工事											H27.3月完了を目指す。
県管理道路 広野町エリア																		
県道393号 上北迫下北迫線 他1路線(地震)	県(土木部)	地震による被災(道路)	工事完了	—														
県道391号 広野小高線(津波)	県(土木部)	津波による被災(道路)	—	—														町復興計画との整合を図る必要有り 一處工
県道391号 広野小高線北釜橋梁	県(土木部)	津波より上部工流失(橋梁)	—	—														町復興計画との整合を図る必要有り 一處工

	整備主体	被災/補修状況	H24年度に実施したこと(成果)	H25年度に実施すること(目標)	H25年度				H26年度				H27年度				H28年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
県管理道路 榑葉町エリア																		
県道35号 いわき浪江線 他4路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	5路線12箇所について、工事の実施 建設副産物の処理方針の調整	工事着手した5路線12箇所について、 年度内完了を図る。残る箇所2路線7 箇所について、他事業との調整を図り ながら工事の早期着手にむけて準備を 進める。	本復旧工事(工事増工した5路線12箇所) 調整				工事								5路線・H24年に査定済 残る2路線は未定(要調整)	
県道391号 広野小高線	県(土木部)	落橋	—	査定に向けて準備を進める。	調査・設計 査定				地元調査、詳細設計、国協議				用地買収、工事				井出川(河川災)との工程調整が必要	
県道小埴上郡山線 井出工区	県(土木部)	—	地元調整	事業用地取得	地元調整、用地取得				用地取得、工事									
県道広野小高線 榑葉工区	県(土木部)	—	調査・設計	調査・設計	地元調整、調査・設計				調査・設計、用地取得、工事									
県管理道路 飯館村エリア																		
県道268号 草野大倉鹿島線	県(土木部)	舗装亀裂 H23年度に災害査定済	アスファルトの線量調査	災害復旧工事の実施	工事												年度内の工事完了を目指す。	
国道399号 他3路線 (帰還困難区域)	県(土木部)	舗装亀裂 H23年度に災害査定済	アスファルトの線量調査	建設副産物処理方針の調整	建設副産物処理方針の調整				工事								放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手する。	
県管理道路 富岡町エリア																		
県道244号小埴上郡山線 他2路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	災害査定のための調査・設計	避難指示解除準備区域における災害 査定を完了させ、工事に着手する	調査・設計 査定 工事													
県道36号小野富岡線 他1路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流出	—	占用管理者と工程調整を図り、災害査定 に向けた準備を進める	調査・設計 査定				工事								占用管理者の調査工程による	
県管理道路 浪江町エリア																		
県管理道路 (津波被災地区) 長塚請戸浪江線 他1 路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂、路面流失	災害査定のための概要計画策定、調 査・設計	災害査定の実施 災害復旧工事着手に向けた調整 災害復旧工事	査定 地元調整、詳細設計、国協議、用地買収、工事												平成25年度早期の災害査定に向けて準備を進め、今後 策定される復興計画との整合を図りながら、平成29年度 の完了を目指す。	
県管理道路 (避難指示解除準備区 域) 国道114号 他6路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	災害査定のための概要計画策定、調 査・設計	災害査定の実施 災害復旧工事着手に向けた調整 災害復旧工事	査定 地元調整、詳細設計、工事												平成25年度早期の災害査定に向けて準備を進め、地震 災は平成27年度の完了を目指す。	
県管理道路 (居住制限区域) 未調査	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	道路状況撮影車両による被災状況調 査	周辺区域の減衰状況見ながら調査を 実施する。	災害査定に向けた準備				調査・設計、査定、工事								被災箇所の調査が未了であり、除染を含めた線量の減 衰を見極めながら、可能な区域より調査および工事を行 う。本復旧工事の完了については、査定後に概ね3年 での完了を目指す。	
県管理道路 (帰還困難区域) 未調査	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	道路状況撮影車両による被災状況調 査	—													放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手する。	
県管理道路 葛尾村エリア																		
県管理道路 国道399号他3路線	県(土木部)	路面陥没、路面亀裂	4路線13箇所について、工事着手し た。	4路線13箇所について、工事の年度 内完了を図る。	工事												高線量区域に位置する路線は被災箇所の調査が未了 であり、線量の減衰を見極めながら、可能な区域より調 査および工事を行う。	
県管理道路 (帰還困難区域)	県(土木部)	未確認															放射線量の減衰状況を見極めながら復旧に着手する。	

	整備主体	被災/稼働状況	H24年度に実施 したこと(成果)	H25年度に実施 すること(目標)	H25年度				H26年度				H27年度				H28年度以降	備考・ポイント等
					4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月		
県管理道路 川俣町エリア																		
県管理道路 国道459号他2路線	県	舗装亀裂			●	●	●	●	●								平成23年度に査定済	
県管理道路 川内村エリア																		
県道小野富岡線 西ノ内工区	県(土木部)		調査・設計	調査・設計	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	事業期間:概ね10年程度	
県道小野富岡線 五枚沢1工区	県(土木部)	原子力発電所事故により工事休止	工事	工事	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	事業期間:概ね10年程度	
県道小野富岡線 五枚沢2工区	県(土木部)	-	調査・設計	調査・設計	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	事業期間:概ね10年程度	
県道吉間田滝根線 (広瀬工区)	県(土木部)	-	-	調査・設計	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	事業期間:概ね10年程度	
県道富岡大越線 緊急現道対策	県(土木部)	-		伐木、防草板、路肩拡幅等の緊急 現道対策工事を実施。	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	緊急現道対策工事	
県管理道路 いわきエリア																		
国道399号 (十文字工区)	県(土木部)	-	調査・設計	調査・設計	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	事業期間:概ね10年程度	
小野富岡線 (吉間田工区)	県(土木部)	-	工事	工事	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	事業期間:平成26年度の供用を目指す。	
小野富岡線 (小白井工区)	県(土木部)	-	調査・設計	調査・設計	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	事業期間:概ね10年程度	

※本工程表に記載の内容については軽微な修正を行う場合があります。